

第8回「いのちの輝きを考える日」

～いつもの力、^{ちから}出雲の地から^{いずも}～

認知症やがん末期などの終末期においてその人らしい尊厳ある人生の最期を迎えるためにはどのような医療やケアがふさわしいのか。また、それをどう自己決定していくのか。ともに考え、明日からの生き方につなげましょう。

日時 2019年10月19日(土) 13:30～16:30

場所 出雲市役所くにびき大ホール

4人で熱く語る終末期ケア！

事前申込不要
参加費無料



石飛幸三さん(世田谷区立特別養護老人ホーム芦花ホーム常勤医)

－「平穏死」という言葉の生みの親。尊厳ある最期を看取ってきた特養医師の立場から－



高橋幸男さん(エスポアール出雲クリニック院長)

－認知症の人の尊厳を支える立場から－



今田敏宏さん(県立中央病院総合診療科部長)

－入院患者の終末期医療を支える立場から－



中山博識さん(老人保健施設たき施設長)

－老健施設での高齢者の穏かな最期を支える立場から－

主催：いのちの輝きを考える日実行委員会

共催：出雲成年後見センター

後援：島根県、出雲市、島根県医師会、島根県歯科医師会、出雲医師会、島根県看護協会、日本精神科看護協会島根県支部、島根県訪問看護ステーション協会、島根県薬剤師会、島根県老人保健施設協会、島根県介護支援専門員協会、島根県社会福祉士会、島根県精神保健福祉士会、島根県理学療法士会、島根県作業療法士会、山陰言語聴覚士協会、島根県臨床心理士・公認心理師協会、島根県介護福祉士会、島根県医療ソーシャルワーカー協会、出雲市社会福祉協議会、出雲地域介護保険サービス事業者連絡会、島根県立中央病院、島根大学医学部附属病院、出雲市立総合医療センター、出雲市民病院、飯南病院、認知症の人と家族の会島根県支部、山陰中央新報社、島根日日新聞社

協賛：フクダライフテック中国(株)

お問合せ先：事務局 社会福祉法人ふあっと内 井上明夫
090-4570-6577 akichan550212@yahoo.co.jp